

# 平成 31 年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査の結果について

令和元年 9 月 30 日  
枚方市立長尾西中学校

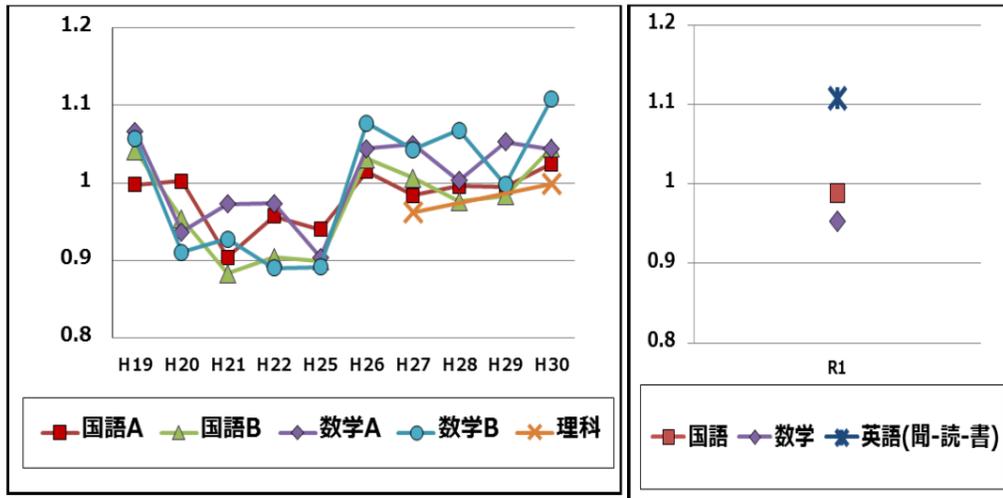
文部科学省が今年 4 月に実施した、平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果について、全国を基準とした経年推移等によって、本校の学力や学習の状況を保護者の皆様にお知らせします。結果によると、生徒の生活習慣と学力には相関関係があることから、引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

## 【全体概要】

### 学力調査の結果

学力調査結果の中から、本校と全国の経年比較（対全国比）をお知らせします。  
（※今年度より、A・B問題が一体化されましたので、グラフを分けています。）

※調査結果について  
教科や出題範囲が限られていることから、  
全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部です。



### < 学力調査結果の概要 >

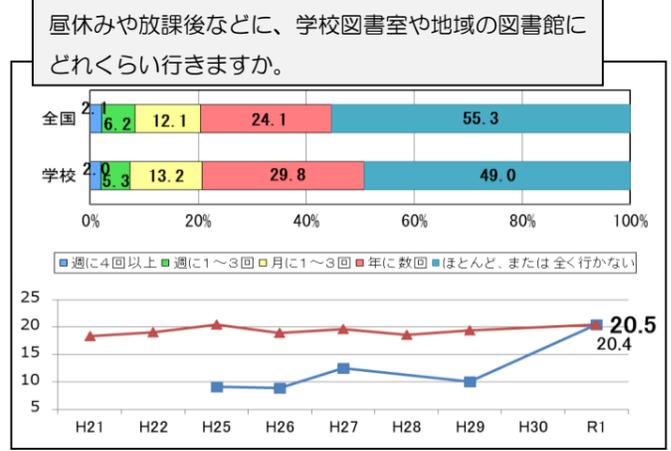
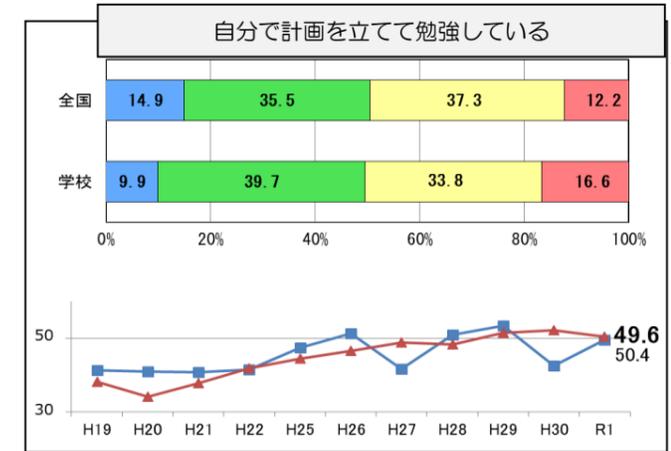
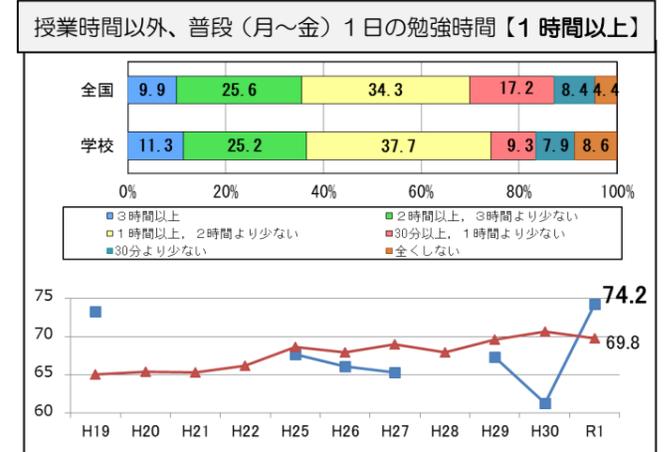
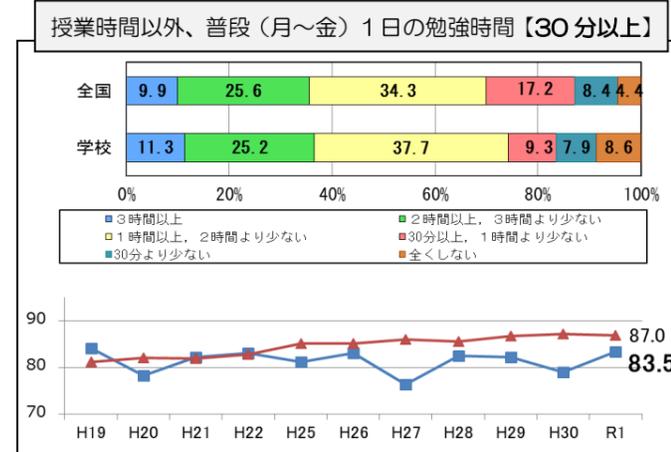
- 国語について  
→ 「関心・意欲・態度」「書く力」で高い正答率が表れていた。一方で「語句についての知識」が定着していない生徒が多く見られた。
- 数学について  
→ 「数量や図形などについての知識・理解」の正答率は全国を上回っていた。しかし、「数学的な技能・資料の活用」は苦手とする生徒が多かった。
- 英語について  
→ すべての分野で高い正答率が見られた。なかでも「記述」「書く力」に関する問題は非常に良くできていた。

※本調査は、平成 19 年度から実施されています。  
※平成 23 年度は中止(東日本大震災)、平成 24 年度は一部の学校を対象にした抽出調査のため、掲載していません。  
※英語の「話すこと」調査は、全国で実施していない自治体がある等、【参考値】として公表されることから、対全国比は掲載していません。

### 質問紙調査の結果

※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「あてはまらない」を示しています。  
※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。  
※無回答があるため、帯グラフの合計数値は 100 にならない場合もあります。

質問紙調査結果の中から、主な項目について、本校と全国の経年比較をお知らせします。



### < 質問紙調査結果の概要 >

昨年度から課題であった家庭学習については、フォーサイトの活用などの取り組みにより生徒の自身が家庭学習を意識するようになってきたように思えます。家庭学習をする割合が上がり、その中でも1時間以上取り組む割合は全国を上回りました。また、計画を立てて勉強に取り組む割合も昨年度より上昇しました。  
図書室の利用率も上がり、本への興味・関心も高まっていることがわかりました。授業での図書室利用を増やすなどして、生徒の興味を維持していきたいです。

### まとめ

結果から「家庭学習」と「計画を立てる」という意識を生徒が少しずつ持ててきました。フォーサイトなどの活動を通して「自分を管理する力」を身につけられる取り組みをしていきます。授業では「論理的に相手に伝える力」を養うような活動を取り入れ、教科の枠を越えて学校全体で研究していきます。

※次ページ以降に、「各教科に関する調査」「質問紙調査」における詳細な結果について公表しております。

# 【詳細について】

## 教科に関する調査

<国語> 成果や課題があった設問

この前、インターネットのニュースを見て、高齢者の中には少しの段差でも歩きづらいと感じたり、段差に気付かず驚いたりしている方がいることを知りました。文化祭には、毎年、高齢者がたくさんいらっしやいます。ですから、体育館へ向かう通路などに、「段差に気を付けてください」と書いた紙を掲示してはどうでしょうか。

倉田さん 西野さん 山下さん

ネットにそのようなニュースが出てくるんですね。掲示物で注意を促すのはよいアイデアだと思います。そういえば、校内に「土足禁止」という掲示物がありますが、展示や発表を見に来てくださる方に対する言葉の使い方としては、ふさわしくないと思います。別の表現にはどうでしょうか。

そうですね。段差への注意を促す掲示物を作ることにしましょう。「土足禁止」をどのような表現に直すのかについては、話し合えないといけないですね。以前から、私も気になっていました。

山下さんも気になっていたんですね。それに、例年、展示や発表の場所が校内に点在しているので、見て回る経路の例を示した紙を配るとよいと思います。

倉田さん 西野さん 山下さん

賛成です。展示や発表の場所は美術室や体育館など校内のあちこちにあるので、長い距離を移動することに負担を感じる方がいると思います。具体的な経路の例は、展示や発表の場所が決まってから検討しましょう。それでは、今日の話し合いはここまでですね。

ちょっと待ってください。具体的な経路のことについては倉田さんの言うとおりでと思いますが、今回出されたことの中で、まだ、どうするか決まっていなかったことがありません。

### 問題の概要（見出し）

	正答率	無解答率
本校	64.7	7.3
全国	60.4	8.9

(考察) 会話文全体の内容を把握したうえで、その後の会話にふさわしい内容を自分で考えて文章を構成するという問題であった。無解答率からみても「自分の考えを書く」ということには抵抗がないように感じる。会話の大事な部分を理解する能力も高いことがわかる。日ごろの授業で条件付の文章を頻繁に書いていることもあり、苦手意識を持たずに取り組めた。

「生徒会が地域で行っていることについての展示」は、この二つにします。次は、「展示や発表を見に来てくださる方への配慮」について考えましょう。

倉田さん 西野さん 山下さん

（議題）  
地域とのつながりを大切にしたい文化祭にするために  
一 生徒会が地域で行っていることについての展示  
・高齢者向けの施設での交流会の様子  
・地域の清掃活動の様子  
二 展示や発表を見に来てくださる方への配慮

### 問題の概要（見出し）

	正答率	無解答率
本校	60.7	0.0
全国	69.7	0.3

(考察) 会話での発言の役割を論理的に理解できているかという問題であった。発表や話し合いは授業中に設けているが、発言ごとにどんな意図があり、どのような効果があるかということを考えることはできていなかった。自分の発言の意図や効果を論理的に振り返る活動が必要であることがわかった。

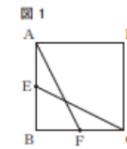
【話し合いの一部】  
② 第一中学校の生徒会役員山下さんたちは、「地域とのつながりを大切にしたい文化祭にするために」という議題で話し合っています。次は、「話し合いの一部」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。（場面①から場面③は、連続した場面です。）

<数学>

成果や課題があった設問

【成果】

7 右の図1のように、正方形ABCDの辺ABの中点をE、辺BCの中点をFとします。真由さんは、線分AFと線分CEについて、次のことを予想しました。



予想1

正方形ABCDの辺ABの中点をE、辺BCの中点をFとするとき、 $AF = CE$ になる。

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 予想1が成り立つことは、次のように証明することができます。

証明

$\triangle ABF$ と $\triangle CBE$ において、  
正方形の4つの辺はすべて等しいから、  
 $AB = CB$  ……①  
点E、Fはそれぞれ辺AB、BCの中点だから、①より、  
 $BF = BE$  ……②  
共通な角だから、  
 $\angle ABF = \angle CBE$  ……③  
①、②、③より、 $\triangle ABF \cong \triangle CBE$  がそれぞれ等しいから、  
合同な図形の対応する辺は等しいから、  
 $AF = CE$

上の証明の□に当てはまる言葉を書きなさい。

【課題】

6 健太さんの家では、冷蔵庫の購入を検討しています。健太さんは、冷蔵庫A、冷蔵庫B、冷蔵庫Cについて調べたことを、次のような表にまとめた。

健太さんが作った表

	冷蔵庫A	冷蔵庫B	冷蔵庫C
容量	400 L	500 L	500 L
本体価格	80000 円	100000 円	150000 円
1年間あたりの電気代	15000 円	11000 円	6500 円

健太さんは、冷蔵庫A、冷蔵庫B、冷蔵庫Cについて、使用年数に応じた総費用を考慮することにしました。そこで、それぞれの冷蔵庫において、1年間あたりの電気代は常に一定であるとし、次の式で総費用を求めることにしました。

$$(\text{総費用}) = (\text{本体価格}) + \left( \frac{\text{1年間あたりの電気代}}{\text{電気代}} \right) \times (\text{使用年数})$$

例えば、冷蔵庫Aを購入して3年間使用するときの総費用は、 $80000 + 15000 \times 3 = 125000$  となり、125000 円です。

	正答率	無回答率
本校	10.8	12.1
全国	15.4	11.6

この問題の出題趣旨は、数学的に表現したことを事象に即して解釈することである。与えられた表から必要な情報を選択したり、グラフを事象に即して捉える力が求められる。方程式や使用年数についての記述がなかったり、使用年数を求める方法について誤った記述をしていたと考えられる。また、「交点の座標を読み取る」ことを記述しているが、「使用年数の値を読み取る」ことについての記述が不完全であった。

	正答率	無回答率
本校	81.2	1.3
全国	75.8	5.2

証明に用いた前提や照明の根拠、結論を整理することができた。本問では、正方形の性質や三角形の合同条件を用いて2つの線分の長さが等しいことを証明した。考察して分かったことを振り返り、図形の形を変えても同じ結論が成り立つための前提を見出すことができた。証明の根拠として用いる「三角形の合同条件」を理解できていると考えられる。

(2) 健太さんの家では、7ページの健太さんが作った表で、容量が500 Lである冷蔵庫Bと冷蔵庫Cのどちらかを購入することになりました。そこで、健太さんとお姉さんは、冷蔵庫を購入してx年間使用するときの総費用をy円として、冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用を比べてみることにしました。

健太さん「本体価格は冷蔵庫Cの方が高いので、最初のうちは冷蔵庫Bより冷蔵庫Cの方が総費用が多いね。」  
お姉さん「1年間あたりの電気代は冷蔵庫Cの方が安いので、使い続けると冷蔵庫Bより冷蔵庫Cの方が総費用が少なくなるね。」  
健太さん「それなら、2つの冷蔵庫の総費用が等しくなるときがあるね。」

冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなるおおよその使用年数を考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いて冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明しなさい。ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。

ア それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表す式

イ それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表すグラフ



< 英語 >

成果や課題があった設問

【成果】 表現

	正答率	無解答率
本校	56.9	4.6
全国	41.2	8.7

(3) 次の表の①から③は、ある女性に関する現在の情報を示しています。これらの情報を用いて、彼女について説明する英文をそれぞれ書きなさい。

①	出身	Australia
②	住んでいる都市	Rome
③	ペット (pet) の有 (○) 無 (×)	×

(考察)  
与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く問題であった。日々の授業で条件を掲示し、英文を書くという作業を行っているため、無解答率が少なく、問題に抵抗なく取り組めたように思われる。

【課題】

読解

	正答率	無解答率
本校	29.1	1.3
全国	32.8	1.0

7 中学生の一部は、スミス先生 (Ms. Smith) と話しています。次の会話文中の ( ) 内に入る最も適切なものを、右の1から4までの中から1つ選びなさい。

Ms. Smith: Ichiro, why don't you read this article? It's interesting.  
Ichiro: Oh, thank you, but it's all in English. That's difficult for me.  
Ms. Smith: This newspaper is for students. Try reading it!  
Ichiro: OK.

[Ichiro reads the article.]

Chimpanzees are one of the smartest animals. They can do a lot of things. How smart are they? A team at a university in Japan found the answer. Some chimpanzees may be as smart as four-year-old children in some ways.  
Few animals can understand *janken*. In *janken*, none is the strongest among *rock*, *scissors*, and *paper*. Learning about the relation among the three is very difficult.  
The team tried teaching *janken* to seven chimpanzees. They showed pictures of two different *janken* hands to the chimpanzees. The chimpanzees got food when they pointed to the stronger one. Finally, five of the chimpanzees learned *janken*.  
The team also tried teaching *janken* to some human children. They found that children could learn *janken* when they were about four years old. Through this study, they got the answer to the question: "How smart are chimpanzees?"

(注) article: 記事 chimpanzee: チンパンジー four-year-old: 4歳の  
few: ほとんどない none is ~: いずれも~ない among ~: ~の中で  
rock, scissors, and paper: グー、チョキ、パー (じゃんけんの指の出し方)  
relation: 関係 human: 人間の study: 研究

- 1 Some chimpanzees may be as smart as four-year-old children
- 2 Few animals can understand *janken*
- 3 The team showed pictures of two different *janken* hands to the chimpanzees
- 4 The team found that children could learn *janken* when they were about four years old

[A few minutes later]

Ms. Smith: What is the most important point in this article?  
Ichiro: ( ).  
Ms. Smith: Right. That is the main point.

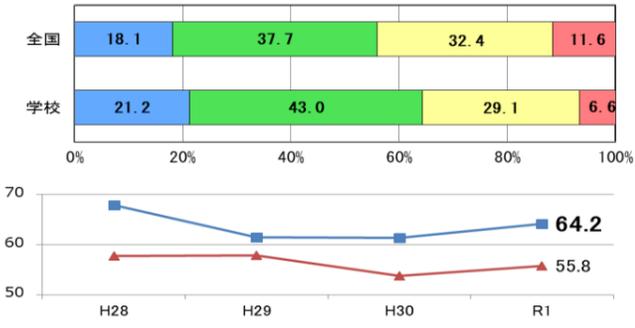
(考察)  
説明文とその前後にある対話を読んで、論理的に理解し、書き手が最も伝えたい内容を選択する問題だった。正答率から見てわかるように、筆者の伝えたいことが理解できた生徒が少ない。授業でまとまった文章を掲示するなどして、筆者が何を伝えたいかを論理的に考える必要があると感じた。

# 質問紙に関する調査

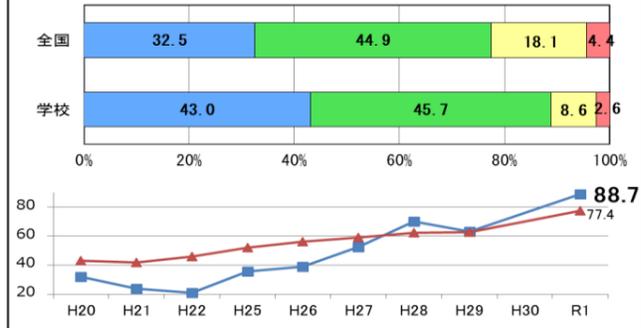
※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「あてはまらない」を示しています。  
 ※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。  
 ※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合もあります。

## 【成果のあった項目】

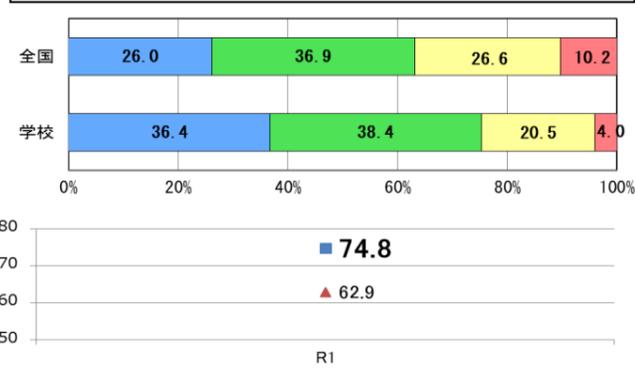
授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思う



国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている

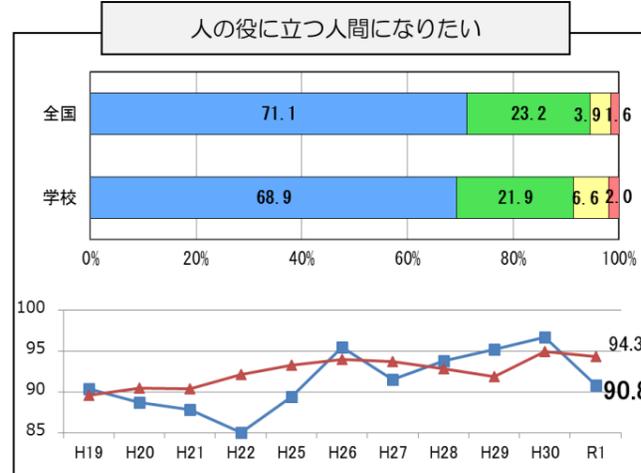
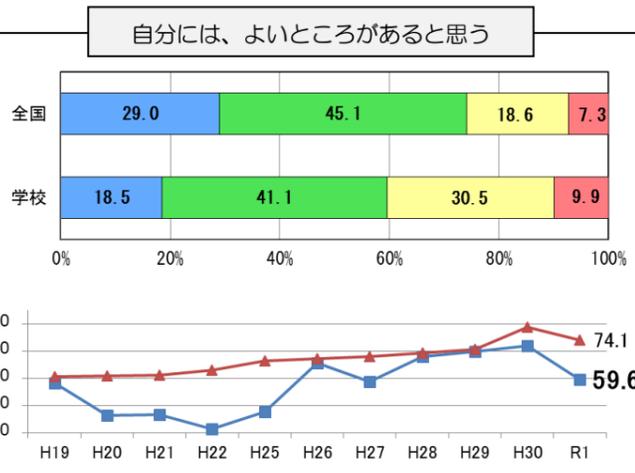


原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思う

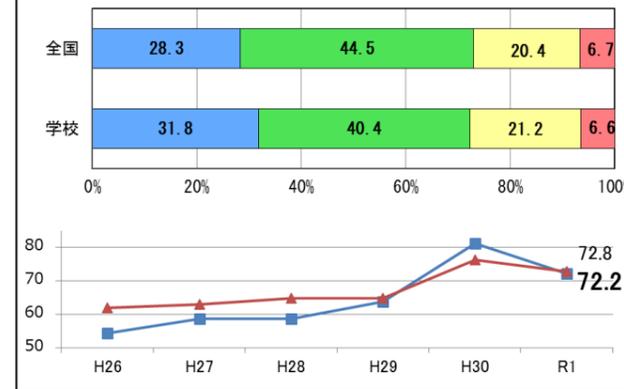


(考察)  
 「論理的に相手に伝える力」をテーマにした各教科での取り組みが数値に表れています。「自分の考え」を授業の中で考えさせることにより、どのように伝えれば理解されるのか、ということ意識することができています。国語・英語は全国を上回る意識が見て取れました。  
 「工夫」に関しては昨年度よりも上昇しているものの全国と比べればまだまだ課題が見られました。「自分の考え」を伝える「工夫」の種類や方法を身につけられる授業を実践していきます。

## 【課題が残った項目】



学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う



(考察)  
 昨年度と比べ、自己肯定感に関する調査の結果が下がっていました。「人の役に立つ人間になりたい」という項目では全国の割合よりも低かった。総合的な学習の時間や特別活動だけでなく教科の中でも自己肯定や社会貢献につながる成功体験や、自信を持つことのできる機会を増やしていく必要があります。  
 学級の中での話し合いでも昨年度を下回る結果が出ました。学級の中でのつながりを大切に、道徳をはじめとして様々な教科で自分の考えを見つめる場面を今以上に取り入れていきます。

# 分析結果を踏まえて今年度中に取り組んでいくこと

## (1) 授業改善について

昨年度につづき「論理的に相手に伝える力」を生徒に身に付けさせたい力として全教科で「授業づくり」を行っています。合わせて「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、教科会議を充実させ、単元を見通した学習計画の作成や教員研修を行っています。生徒が一人で「考える」場面をしっかりと持ち、「考え方」を学びあうことで学びの多様性を実感できるような授業をめざし、クラスや学年だけでなく学校全体で授業の質を向上できるように取り組んでいます。

## (2) 学習規律について

フォーサイト手帳による持ち物・宿題の管理や、チャイム着席や授業態度に関する生徒会による取り組みなどを通じて学習規律の大切さを生徒に伝えています。学習の動機づけを意識させて「聴く」姿勢をしっかりと維持できるよう生徒に呼びかけていきます。

## (3) 家庭学習について

本校の課題でもある「家庭学習」への取り組みは大きく2つあります。  
 1つ目はフォーサイト手帳です。生徒が計画を持って家庭学習ができるように次の日の予定・提出物などを書くなど、学習時間を計画するためのノートです。目標に向かって計画を立てて見直しを持つことと時間を大切にし、学習する生徒を育成しています。  
 2つ目は自学自習ノート(きらきらノート)です。自分で課題となるところを見つけコツコツと努力する生徒を育成するために取り組んでいます。家庭学習をするためのノートで定期的に回収などを行っています。自学自習の例として参考になるノートを廊下に掲示しています。